

家畜衛生情報

牛の異常産にご注意ください！！

発生予察のための定点観測において、アカバネ病の抗体価の上昇(感染)が7年8月に熊本県、同年11月に高知県、沖縄県、また、アイノウイルス感染症の抗体価の上昇(感染)が鳥取県を除く西日本(隣接県の滋賀県含む)の広い範囲で確認されました。引き続き、異常産混合ワクチンの接種をお願いします。なお、昆虫媒介性疾病の予防は媒介昆虫が活動し始める前＝春の予防接種が重要です。

※岐阜県は、アイノウイルス感染症の検査対象地域ではありませんので、実施していません。

【アカバネ病、アイノウイルス感染症とは】

- ・胎児感染の時期が幅広いため発生は死流産から異常子牛まで
- ・伝播経路:カ、ヌカカにより媒介 ・流行時期:夏～秋
- ・治療法:なし、ワクチンによる予防が可能

【症状】

- ・成牛(妊娠中の感染)
夏～翌年の春に死流産
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
- ・子牛(生後感染):【アカバネ病】
運動失調、起立不能、異常興奮などの神経症状等



アイノウイルス感染症の抗体価上昇(感染)が確認された地域 (R7年度)

【牛の異常産ワクチンで予防可能な疾病】

- ・アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病(異常産3種混合ワクチン)
- ・アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病、ピートンウイルス感染症(異常産4種混合ワクチン)

●R7年度 抗体陽転を確認した県

チュウザン病	高知県(8月)、熊本県(8月)、宮崎県(11月)、鹿児島県(11月)
--------	------------------------------------

※ チュウザン病、アイノウイルス感染症の検査対象地域は、西日本。アカバネ病は、全都道府県。チュウザン病の抗体陽転は、近縁のデアギラウイルス感染による可能性があります。

●R7年度 異常産を引き起こすウイルスで遺伝子が検出された県

シャモンダウイルス	熊本県(8、9月)、宮崎県(8、9月)
デアギラウイルス	熊本県(11月)、宮崎県(11月)
ブルータングウイルス	沖縄県(5、9、11月)、宮崎県(11月)

※ 検査対象地域は、九州・沖縄地域の8県。現在、効果的なワクチンは、ありません。

異常産等が確認されたら家畜保健衛生所へ連絡をお願いします!!

岐阜県中央家畜保健衛生所 TEL:058-201-0530 FAX:058-201-0531